

株式会社岩手銀行

滝沢市上・中鵜飼地区における農地集積に向けた実証事業の実施について

株式会社岩手銀行（頭取 岩山 徹）、東北学院大学、滝沢市および一般社団法人 Tannbo は、Web アプリを活用し、地域農業の担い手（※1）への農地集積を目指す実証事業を岩手県滝沢市で実施しましたのでお知らせいたします。

今後も、当行は地域の皆さまとともに共通価値を創造し、豊かで活力のある、そしてサステナブルな地域社会の実現に努めて参ります。

記

1. 実証事業の背景と目的

岩手県滝沢市の上・中鵜飼地区では、農地中間管理機構（農地バンク）（※2）への農地の貸付は進んでいるものの、担い手への農地集積が進んでいない状況となっています。本実証事業では、Web アプリ（※3）を用いて参加農家から「耕作したい農地」と「耕作したくない農地」という2種類の耕作意向情報を入手し、農家一人ひとりの意向に基づいた農地の集積案を作成しました。

2. 実施概要

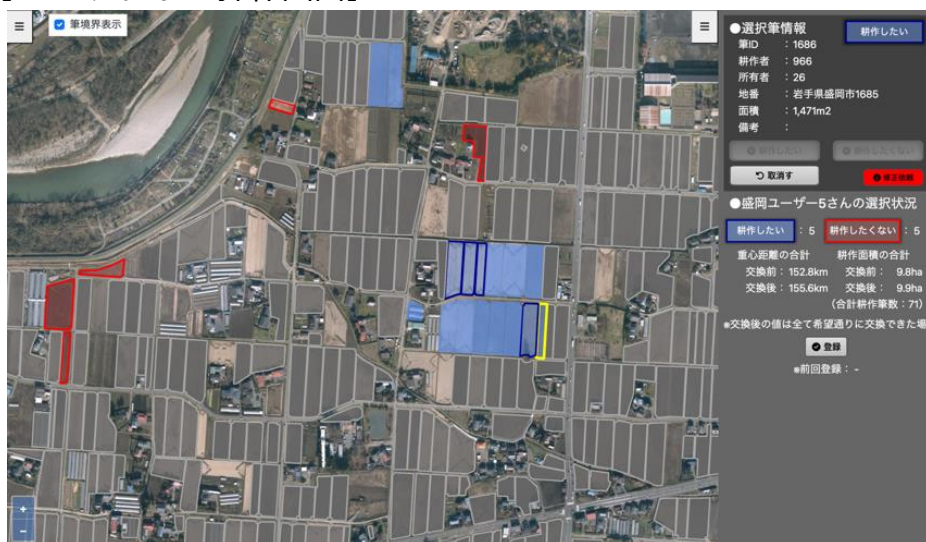
実施地区	岩手県滝沢市 上・中鵜飼地区	対象筆数	512筆
対象農家数	112軒の農家(参加農家24軒)	実施期間	2024年10月
主な成果	Web アプリにより参加農家から耕作意向情報を収集し、地域の担い手と農地利用について検討した結果、14件のマッチングが生じました。なお、このマッチングにより、農地中間管理機構の機構集積協力金交付事業（※4）の交付要件を満たすことになりました。		

3. 今後の展望

本実証事業の成果物である農地の集積案を農業経営に活かすことで、地域の農業所得向上に貢献することが期待されます。また、今回の集積案が機構集積協力金交付事業の交付要件を満たすことに貢献したように、今後は当該事業も活用して効率的な農地利用ができるよう、引続き農地の集積及び集約の促進に努めて参ります。

- ※ 1 効率的かつ安定的な農業経営およびこれを目指して経営改善に取り組む農業経営者。
- ※ 2 農地を所有者等から借受け、担い手等へ貸付を行い、農地の集積（利用する農地面積を拡大すること）・集約（農地の分散を解消すること）化を進める組織。都道府県、市町村、農業団体等が出資して各都道府県に1つ設置される。
- ※ 3 Web アプリの概要
地図上で表示される農地の情報を参考にして、新たに「耕作したい農地」と、現在耕作しているが今後は「耕作したくない農地」という2種類の耕作意向情報を入力するもの。これらの2種類の意向情報をもとに農地のマッチングを行うことで、参加農家が同意しやすい農地の集積案や集約案を作成することができる。

【Web アプリの操作画面】



- ※ 4 一定の要件を満たした地域について、農地中間管理機構を通じて担い手に対して貸し付けられた農地に対し、協力金を交付する制度。農業機械の購入や鳥獣害対策、農道の維持管理等に活用される。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
 地域貢献部 事業性理解推進チーム 八重樫
 電話：019-623-1111（代表）